

# 未来に向かって 自ら羽ばたける北っ子！

～考え動く 人とつながる 未来を創る～

今年は梅雨明けが早く、7月は暑さとの戦いになりました。特に、下校時は雷雨の心配も重なり、ご家庭でも随分気をもまれたと思います。急なお迎えをお願いした日もありましたが、臨機応変に対応していただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今日より夏休みに入りますが、ご家庭でも子ども達の安全には十分注意していただき、9月1日、元気な「おはようございます」で2学期が始まりますようよろしくお願いいたします。



## 子どもが描く学校図書館づくり プロジェクト会議

今年度、丹波市の「子どもが描く学校図書館づくり」支援事業を受け、子ども達の意見を中心に据えた図書室整備を進めています。

まずは、6月11日と7月2日の2回、プロジェクト会議を実施しました。メンバーは、小学生6人（6年生）、保護者7名、地域の方6名、教職員3名の計22名です。皆さん、自ら図書室整備のために集まってくださいました。



第1回目は、4年生以上に取ったアンケート調査の結果を見ながら、どんなものが図書室にほしいか、図書室をどんな場所にしたいかを3グループに分かれて話し合いました。

出てきた意見を集約すると、

- ・「静かに本を読むスペース」「ゆったりくつろげるスペース」「楽しめるスペース（読書以外で）」の3つのスペースを図書室とその隣の旧コンピューター室（今は男子更衣室として利用）に作る。
- ・図書室に置きたいものとして、クッション（ヨギボー）、ぬいぐるみ、ソファ、カーペット（寝転がって読める）、一人で読める場所（一人用テント、机）ウォーターサーバー、カードゲーム、ボールプール、漫画の本、などです。

以前は、図書館と言ったら、静かに本を読む場所というイメージでしたが、今は様変わりして、本を介して人が集う場所になってきているようです。

第2回目は、出てきた3つのスペースをどこに配置するか、予算300万円で具体的に何を購入していくのかを考えました。子ども達も大人達も和気あいあい、意見を出し合い新しい図書室を目指して話し合えたことをとても嬉しく思いました。念願のバーコードで貸し借りできるシステムも導入します。実際の作業が始まるのは、8月下旬あたりかと思えます。



思えば、昨年の夏休みに、市の支援事業を先取りして始めた図書室整備には、多くの保護者や地域の方々にご参加いただきました。今年もその引き続きとして、ボランティアさんを募集しますので、どうかご協力いただきますようよろしくお願いいたします。